

# 卒業論文1次題目の提出方法について

文学部の卒業論文（中国文学科は「卒業論文II」）の題目は、原則としてK-SMAPY IIのアンケートにて提出します。

1次題目を提出する学生は、この資料を自分自身でよく読み、注意事項や所定の各期限を遵守して提出してください。

## <文学部卒業論文題目の K-SMAPY II での入力画面>

### 【申込方法】

K-SMAPY II トップページ>アンケート>アンケート回答

### 卒業論文第1次題目の提出について

指導教員の氏名を入力したうえで、指導教員の承認を受けた1次題目を入力してください。

必ず注意事項を  
読んでください。

【注意事項】  
(1)指導教員の承認を得ずに入力した題目は無効となります。  
(2)誤変換などによる入力ミスがあっても、入力された通りの題目が1次題目として登録されます。  
(3)入力できない文字（例：甲骨文字、中国の簡体字など）が題目に含まれる場合、大学ホームページ（在学生→授業・履修→卒業論文等）から外字申請書をダウンロードし教務課リポートボックスに投函又は教務課に郵送・メール提出してください（提出期間はK-SMAPY II 経由の場合と同一）。

指導教員の氏名を漢字で入力してください（「教授」「先生」などの敬称不要、姓と名の間にスペース不要）

①自分の指導教員の氏名を漢字で入力（例：若木太郎）

指導教員の氏名を全角カタカナで入力してください（姓と名の間にスペース不要）。

②自分の指導教員の氏名をカタカナで入力（例：ワカギタロウ）

指導教員の承認を受けた題目を入力してください。

※注意※  
題目の前後を鍵括弧（「」・『』など）で囲む必要はありません。教員から指示された場合を除き、教務課にて鍵括弧を削除したうえで題目の登録を行います。  
例：「『國學院大學』について」→「國學院大學」について  
『國學院大學の歴史』→國學院大學の歴史

③指導教員の承認を受けた題目を入力

④全て入力後に必ず[回答]をクリックして登録をしてください。

回答

## <1次題目・2次題目・卒業論文の提出時期>

※「卒業論文指導カード（学生用）」にも記載あり。

① 1次題目提出期間 令和3年10月1日（金）9時00分～10月28日（木）23時59分

提出方法 【原則】K-SMAPY IIのアンケート回答画面より入力する。

【例外】題目にK-SMAPY IIで入力できない文字（標準外字、中国の簡体字、甲骨文字など）を用いている場合は、ホームページから「文学部卒業論文 題目 外字申請書」をダウンロードして印刷し、所定事項を記入して教務課前のレポートボックスに投函又は郵送・メールにて提出する。

※1次題目を提出しなかった場合、次年度に2次題目、及び卒業論文を提出することはできない。  
現3年生は令和5年3月に卒業することができなくなる。

② 2次題目提出期間 令和4年6月1日（水）9時00分～7月7日（木）23時59分

提出方法 1次題目と同じ

※2次題目を提出しなかった場合、同年度後期だけでなく、翌年度（在学5年目以降）の前期にも卒業論文を提出することができず、卒業が少なくとも1年延期になる。今年度に1次題目を提出した3年生が、来年度前期に2次題目を提出しなかった場合、卒業時期は最短でも令和6年3月になる。

※在学期間が5年目以上の学生は、卒業要件を充たせば本人の希望により9月に卒業できる。ただし、文学部の卒業論文履修者は、前期中に9月卒業願を大学へ提出する際に、2次題目も改めて届け出る必要がある。

この9月卒業のための2次題目提出ができるのは、前年度前期に2次題目を提出している者に限られる（前年度の未提出者は履修要綱P49が要件としている「論文作成のあいだ終始積極的に指導教員の指導を受け」ていないとみなされるため）。したがって、4年次前期時点で卒業見込みがなくても、翌年9月の卒業を計画している場合は必ず2次題目を提出しておくこと。

③卒業論文提出期間・場所 4年次に告知する。

※②で届け出た2次題目と異なる題目の卒業論文は受理されない。

## <題目提出時の注意>

- ① K-SMAPY II から題目を入力して提出する前に、必ず指導教員からその題目の承認を得てください。  
→指導教員の承認を得ないまま無断で指導教員を指定したり題目を入力・提出した場合、その題目提出自体が無効となり、未提出と同じ扱いになります。未提出者は自動的に卒業延期となるので、くれぐれも注意してください。
- ② ホームページから「卒業論文指導カード」（学生用と教員用）を各自でダウンロードして印刷し、1次・2次題目の提出時には「論文題目」の欄に提出する題目を正確に記入してください。  
→「卒業論文指導カード」の「教員用」のカードは、氏名、住所、帰省先住所を記入したうえで、原則として指導教員に提出してください。  
→「学生用」のカードは卒業論文本体の表紙裏に貼付するものなので、卒業論文の提出時まで大切に保管し、随時指導記録を残してください。
- ③ K-SMAPY II から入力できない特殊な文字を題目に使用している場合は、ホームページから「文学部卒業論文題目 外字申請書」をダウンロードして印刷し、所定の事項を洩れなく記入して、提出期間内に教務課宛てに郵送・メール又は、教務課前のレポートボックスに投函してください。
- ④ 誤変換などによって誤って入力した場合でも、その題目が正式に大学に登録されます。特に2次題目は提出する卒業論文と一字一句合致していることが絶対条件となるので、くれぐれも誤って入力しないよう注意してください。  
(なお、2次題目は誤字・脱字を修正する機会を別途設けます)
- ⑤ 学科、専攻コース、指導教員によっては、独自に指導会を実施する場合があるので、K-SMAPY II の掲示配信及び文学部掲示板（若木タワー2階）等で確認してください。

## <卒業論文指導カード（学生用・教員用）の使い方>

- ① ホームページから「卒業論文指導カード」をダウンロードして印刷してください。「学生用」と「教員用」の2種類があります。

The image shows two sample forms for the graduation thesis guidance card. The left form is for 'Student Use' (学生用) and the right form is for 'Faculty Use' (教員用). Both forms include fields for student/faculty name, department, and year, as well as a table for recording thesis titles and dates. The student form also includes a section for the student's name and a table for recording the student's name and date. The faculty form includes a section for the faculty member's name and a table for recording the faculty member's name and date. Both forms also include a section for the thesis title and a table for recording the thesis title and date.

- ② 「教員用」は原則として指導教員に渡し、「学生用」は自身で保管して、論文指導を受けていることを随時記録してください。特に、「論文題目」欄は1次題目、2次題目とも K-SMAPYII に入力して提出する前に、指導教員の承認を得た内容を記入してください。

- ③ 「学生用」は卒業論文の提出時に、表紙の裏に貼り付けてください（履修要綱 P50 参照）。

- ⑤ 記録していたカードを紛失した場合は、自身で再度ホームページから印刷したものを使用してください（教務課では交付しません）。

以上